

Big data

Analysis

City planning

2020



Urban Innovation Laboratory

Space policy

Social network

Information science

最近の活動について



<基礎知識習得時間>

コロナ禍においてオンラインでの研究室活動が多い中、オンラインでの今後研究室で必要となる基礎知識の習得に努めました。研究室の時間は週に2限分あるのでそのうち1限がこれに当てはまります。

<主な内容>

COVID-19…「COVID-19のデータコミュニケーションを考える」を掲げ、韓国、台湾、日本の三国で運営されているCOVID-19用特設サイトを比較しました。主に、全体のデザインの違い、感染状況グラフの作り方、データへのアクセシビリティを比較し、各自がA4一枚にまとめ、発表しました。そして発表されたものを各々が見て議論し、様々な視点を共有することで今までなかった視点を獲得する事ができました。

輪読…プロジェクトに関わる本を自分たちで探し2.3人で分担して読む→全員の前で要約してプレゼンします。各自好きな本を選べるので強制力がない分、進んで学習することが出来ました。またパワポを作成する能力を向上させ、他のメンバーが読んだ本から随所学ぶことが出来ました。

ITパスポート…ITパスポート試験とは情報処理推進機構が実施しているもので、情報処理技術者試験の一区分である国家試験です。これはITを利活用するすべての社会人、これから社会人になる学生が備えておくべき、ITに関する基礎知識を持っていることが証明できる試験です。このITパスポートを習得するためにグループワークを通し学習しました。

その他プロジェクト…企業が学生向けに研究テーマを募集しているプロジェクトに参加しました。具体的には、『Google AI』や『リバネス』といったプロジェクトです。強制ではないですが、今まで外部のプロジェクトに参加してこなかった人にはいい機会になると思います。

Check!

前期は関わったことの無い学生と同じ研究室になり不安や期待それぞれありますが、このようなチームでの活動が多いのでコミュニケーションの場も多く、すぐに仲良くなる事が出来ます!!

興味がある方は⇒のQRコードで過去の情報をGETしてください!





食べるネオン

2020 アオイネオンプロジェクト

都市イノベーション研究室×株式会社アオイネオンさんで
衰退産業であるネオン管で何かできないかと企業と学生が考
えていくプロジェクトです。

ネオン管を一般の人が手に取りやすいグミ、飴などのお菓子に見立てて、そのお菓子を販売することでお菓子のパッケージなどでネオン管をPRし、一般の人に親しみをもってもらおうという企画です。都市大の学食に企画したお菓子が並ぶことを目標に、企業の方たちと連絡を取っています。

ネオンカラーライトセラピー

カラーセラピーは色の持つエネルギーによって、心に心理変化をうながし、“癒し”と“活性”をもたらしていく効果です。勝負時に赤色のものを身に着ける、緑色を見ると癒されるというように色ごとにそれぞれの効果があります。私たちはネオンを次世代に残すカギとして、ネオンに「心を癒せる」という付加価値を与えることで次世代に受け継げないかと考えました。現在は社会実験を通して、ネオン管の色が心理変化につながるかを調査しようとしています。

Check!

ネオンについて知らない人でもネオンについて学ぶ機会があるので誰にでも参加できます。プロジェクトは学生の意見が実現したものです。研究室では、学生一人一人の意見が尊重され、実現する機会がある研究室です。やる気があるのはもちろん、やりたいことがある学生を歓迎します。



しんゆり交流空間 リリオス

地域商業連携一体化センター



しんゆり交流空間リリオス

新百合ヶ丘の街に年間を通じて、商業の活性化を図り、地域の多様な人々、多世代の人々が集まり交流し合い、様々な活動が生まれて、街づくりの担い手が育ち、活動が連携しあう場所として「しんゆり交流空間 リリオス」が設立されました。この施設を拠点として、商業活動の一体化による街の賑いづくりから、子育て世代を中心とする多世代交流に至る街づくりを推進しています。

ワークショップ

新百合ヶ丘を通して、幅広い年齢層の人々が集い、楽しく過ごせる場所とする「しんゆりマルシェ」が開催される為、人の多い場所でパンフレットの配布やマルシェへの満足度を把握するためにアンケート調査を行い、盛り上げることができます。またこのイベントを通して、普段関わらない他大学の人とワークショップで出会うこともできます。人々と一緒に新百合ヶ丘の素晴らしさを通して、リリオスでの常時ワークショップ行おうということで開催するようになりました。

Next

2020ワークショップ成果について詳しくは次のページへ

第1回ワークショップ

テーマ：健康とプログラミング

<目的>

コロナウイルスによって絶たれた地域コミュニティを形成するために行い、プログラミングを楽しく学んでもらいながらも現状に必要な情報を得てもらうことを期待して企画しました。

<実施内容>

プログラミング…各ブレイクアウトルームに大学生と参加者を振り分け、教育プログラミング言語であるScratchを利用してワークショップを実施しました。プログラミング体験後は、参加者に作品を発表してもらいアウトプットしました。

手洗いダンス…1番大切な手洗いうがいを習慣づけるために実施しました。

プログラミングの休憩時に、私たちが考えた手洗いダンスと一緒に踊ってもらいました。

健康クイズ…免疫力を高めるための知識などを子供向けに出題しました。オンライン上でしたが、子供たちが自由に発言してくれて、とても盛り上がりました。



第2回ワークショップ

テーマ：youtuber 入門

<目的>

小学生の憧れの対象となりつつあるユーチューバーが力を入れているサムネイルづくりを体験することを通して、「伝える力」を養うことを目的としました。

<実施内容>

準備期間 私たちも実際にサムネイルづくりをみんなでを行い、それをかみ砕いて小学生に伝わりやすい説明資料を作成しました。

当日 ZOOM のブレイクアウトルーム機能を使い、個別にサムネイルづくりを体験してもらいました。完成したサムネイルは、小学生同士で発表をすることを目標にしました。小学生の中には、パソコンを上手く使うことが出来ない子が多かったり、人見知りでありコミュニケーションを取ってくれなかったりトラブルが少々ありました。しかし、大学生のサポートや引き出し術で最終的には参加者全員が成果物をあげることが出来ました。

